

テーマ：家庭教育支援 対象：生後1~5カ月の子供を初めて育てる母親 主催： 広島市中央公民館

4-③オンライン 初めてのママの子育てプログラム 赤ちゃんといっしょ♡

地域を学ぶ	地域でつながる	○	地域に還す
-------	---------	---	-------

1 学習プログラムの展開（令和2年度）

日程	場所	学習・活動内容
1月23日（土） 10:00~11:00	オンライン (Zoom)	① 初めての子育てに思うこと 初めての子育てをやる中で、気になっていることを交流する。 ※ 出された話題の中から、次回以降のテーマを決定する。
1月30日（土） 10:00~11:00		② 赤ちゃんとの一日の過ごし方 他の親子の1日の過ごし方について交流し、自己の生活に役立つヒントを見つける。
2月6日（土） 10:00~11:00		③ 赤ちゃんとの接し方 他の参加者から赤ちゃんとの接し方について聞き、自分の関わり方について振り返る。
2月13日（土） 10:00~11:00		④ 親になった私 親になった自分がよりよく生活していくために、日頃からできることについて考える。



対象	生後1~5か月の子供を初めて育てる母親
経費	無料
連携先	子育て支援ボランティア

問合せ先	広島市中央公民館 〒730-0005 広島市中区西白島町 24 番 36 号 電話：082-221-5943 ファクシミリ：082-221-5118
-------------	--

2 講座設定の理由（学習の目的）

- 参加者同士が交流する場を、オンラインを活用して提供し、子育ての基本的な知識等を得る。また、参加者同士が交流をする中で、不安感などのストレスを解消するとともに、参加者同士のつながりづくりを行う。

3 学習目標

- 子供の月齢が近い参加者同士で話をするすることで、自分に必要な子育ての知識等を得ることができ、今後の子育てに見通しを持つことができる。
- 参加者同士の交流を深めることで、自分一人ではないという安心感を持ち、他の人とつながりながら子育てを行おうとする醸成を図る。

4 事前に必要な主な準備

- Zoom の操作方法
- ICT 機器の準備
- 講師（子育て支援ボランティア）との連携
- 職員のファシリテーションスキル

5 主な留意点

進行役は次の4点に留意する。

- 参加者に子育ての考えを押し付けることのないように配慮する。
- 参加者にお互いの言葉や気持ちを大切に、積極的に話して、聞いて、楽しむことを提案する。
- 参加者に子供と一緒に活動となるので安全面に留意しながら、参加してもらうように声かけを行なう。（例：参加者が画面に夢中になり、子供から目を離さないよう注意を促す。）
- 参加者に話し合ったことで知り得た内容については、外部に持ち出さないことを約束する。

6 成果

- オンラインを活用したので、新型コロナウイルス感染症の状況に左右されずに、開催することができた。
- オンラインを活用することで、対面形式では参加が難しいと思われた方にとっても参加がしやすい傾向が見られた。
- コロナ禍で出産した参加者同士が子育てについて情報交換をすることができ、コロナ禍における子育ての悩みを交流したり、今後の子育てについて見通しを持つことができた。
- 参加者が人とつながることの良さや大切さに気づき、講座後に対面での交流へとつながりを広げることができた。

7 課題

- 生後1～5か月の子供を初めて育てる母親を対象を絞ったため、対象者が狭く参加者が少なかった。

8 今後に向けて

- 年間を通して、定期的実施できるように計画する。（年2～3回）
- 対象者に情報が届くよう、広報について工夫する。具体的には、産婦人科などにチラシを置いてもらえるように依頼する。
- 対面においても継続的につながりづくりが行えるように、参加者の居住地のオープンスペース等の子育て情報を提供する。